

多摩川サイクリングコースの延伸及び 橋梁（ピクニック橋）の完成について（令和元年5月）

昭和40年に神奈川県が整備した多摩川のサイクリングコースは、幸区が多摩川大橋から多摩区の二ヶ領用水の取水口までで途切れ、その先に行くには車道に出る必要があるなど、安全面や利便性が問題になっており、稲城市との市境まで延伸を要望する声が市民等から出ていました。

サイクリングコースの延伸については、歩行者の安全面などを含め、議会でも度々取り上げられていました。このような中、関係機関等との協議・検討の結果、令和元年5月に多摩川サイクリングコースの橋梁（ピクニック橋）が完成し、多摩区布田橋から稲城市との市境までサイクリングコースが延伸されました。

議会での審議経過と市の取り組み

【平成7年決算審査特別委員会（12月）など】

質問

多摩川サイクリングコースについて、二ヶ領用水の取り入れ口でとまっていますが、市民から、稲城市の境までの延長をしてほしいという要望が数多く出ています。今後の計画について伺います。

答弁

幸区の御幸公園から多摩区布田の二ヶ領上河原堰堤まで県が設置し、管理しています。コース上流側の終点の先に二ヶ領上河原堰堤があり、技術的な問題や河川管理上の問題などから、延長は困難とのことですが、引き続き県に要望していきます。

- 多摩川のサイクリングコースの延伸について、議会でも幾度も取り上げられて、市としても県などに要望を行っていましたが、様々な問題があり、なかなか整備されませんでした。



「ピクニック橋整備前の写真」

【平成22年第5回定例会（12月）】

質問

布田橋の上流側に一部、アスファルトで舗装されている道路があります。これを利用すれば稲城市の境までサイクリングコースの延伸が可能だと思いますが見解を伺います。

答弁

質問にあった区域についてですが、「多摩川プラン」にてサイクリングコースの充実として、延伸等に関する検討を進めることを位置づけています。国の河川法による占用許可が前提条件となりますが、上河原堰堤の上流のアスファルト舗装等を利用して整備が可能なものと考えています。

【平成23年第3回定例会（6月）など】

質問

過去の議会での答弁において、布田橋から稲城市の境までサイクリングコースについては整備が可能なものと考えておりますとの答弁をいただきました。その後の経過と今後の取り組みについて伺います。

答弁

布田橋から下流にございます神奈川県内のサイクリングコースについては、移管に向けた協議を進めていることから、移管後には本市の多摩川全域を対象として、接続されていない部分の解消や布田橋から上流部への延伸についての検討が行えるよう基礎調査等を行ってまいります。

取り組みとしては・・・

平成24年度に川崎市にサイクリングコースの管理権限が移管され、平成27年5月には地元町内会等からコースの充実や安全な往来のために橋の整備を求める要望書が出されました。

その結果、平成28年3月策定の新多摩川プランに布田橋から稲城市の境まで約2キロの未整備区間について、延伸計画が位置づけられ、河川を管理する国土交通省や稲城市との協議の末、橋梁（ピクニック橋）が完成し、多摩区の布田橋から稲城市との市境までサイクリングコースが延伸されました。



「議会かわさき」広報キャラクター
およよん



【平成30年第2回定例会（6月）】

質問

サイクリングコースは、多摩川河川敷を散策する歩行者も多く利用し、歩行者と自転車利用者との接触などによる事故の防止対策は重要です。多摩川サイクリングコースとの名称から自転車優先路のような印象もあります。他都市では、サイクリングコースの名称を変更する取り組みや自転車のスピード抑制のために、段差舗装などを実施しています。本市のサイクリングコースの名称への見解と、安全対策の今後の取り組みを伺います。

答弁

多摩川サイクリングコースについて、昭和40年神奈川県により設置され、本市へ移管された後も名称をそのまま使用しています。自転車優先との認識を持たれる場合もありますので、歩行者と自転車が共存する空間にふさわしい愛称の設定等、安全対策について検討していきます。

愛称についての取り組みとしては・・・

多摩川サイクリングコースは、名称によって自転車優先という認識を持たれ、自転車がスピードを出して走行することもあり、改善を求める声がでていました。そこで、歩行者・自転車などさまざまな利用者が安心安全に利用できるコースを連想し、親しみやすく多摩川を連想させる愛称を設定することになりました。

令和元年10月に愛称の募集を行い401点の応募がありました。その中から候補を4点に絞り、令和2年1月に市民投票（WEB投票）を実施した結果、200票の投票があり、投票数をもっとも多かった「かわさき多摩川ふれあいロード」が愛称となりました。

投票結果

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 かわさき多摩川ふれあいロード（85票） | 2 かわさき多摩川ゆずり愛のみち（48票） |
| 3 かわさき多摩川いこいの道（38票） | 4 かわさき多摩川やすらぎロード（29票） |

安全対策についての取り組みとしては・・・

- 延伸区間についても右の写真のように、路面に標示を行うなど、既存の安全対策と同様に注意喚起などについて取り組んでいます。



多摩川サイクリングコース及びピクニック橋の概要

多摩川サイクリングコースの概要

(愛称：かわさき多摩川ふれあいロード)

区間 多摩区・菅から幸区・古市場地先

延長 20.2km



ピクニック橋の概要

潜水橋 (増水時には水面下に沈む橋)

橋長 29.5m

全幅員 3.8m (有効幅員3.0m)

※橋名は、作曲家の古賀政男が明治大学マンドリン倶楽部在籍時に稲田堤に花見に訪れ、「ピクニック」という合奏曲を作曲したことに由来しています。のちに歌詞をつけて「丘を越えて」として売り出され、昭和の大ヒット曲となりました。